

# 試 験 研 究 業 績

外 部 へ の 発 表  
(平成 16 年度～平成 22 年度)



## 【学 会 誌】

- 厚地伸, 増田育司, 赤毛宏, 伊折克生 (2004). 耳石横断薄層切片を用いた鹿児島県近海産ヒラメの年齢と成長. 日水誌 70 (5) : 714-721.
- 厚地伸, 増田育司 (2004). 鹿児島湾におけるヒラメ人工種苗の放流効果. 日水誌 70 (6) : 919-921.
- 横山博, 柳田哲矢, 竹丸巖 (2006). 韓国産天然種苗に由来する養殖ブリにみられた粘液胞子虫 *Kudoa megacapsula*. 魚病研究 41(4) : 159-163.
- 宏道弘敏, 北田修一 (2007). 鹿児島湾におけるマダイの種苗放流効果. 日水誌 73 (2) : 270-277.
- 坂井貴光, 平江多績, 湯浅啓, 釜石隆, 松山知正, 三輪理, 大迫典久, 飯田貴次 (2007). *Vibrio nigripulchritudo* によるクルマエビの大量死. 魚病研究 42(3) : 141-147.
- 宏道弘敏, 北田修一, 坂本崇, 浜崎活幸 (2008). マイクロサテライト DNA による鹿児島湾のマダイ天然魚と放流魚の遺伝的変異性の評価. 日水誌 74 (2) : 183-188.
- W.Sompoth, 畑井喜司雄, 平江多績, 村瀬拓也 (2008). ブリより分離された *Mycobacterium marinum* に対する薬剤の in vitro と in vivo における効果. 魚病研究 43(3) : 106-111.
- 柳田哲矢, P.Oswaldo, 平江多績, 田中真二, 横山博, 小川和夫 (2008). 養殖マダイとイシガキダイの粘液胞子虫性やせ病. 魚病研究 43(1) : 45-48.
- T.Yamamoto, K.Teruya, T.Hara, H.Hokazono, H.Hashimoto, N.Suzuki, Y.Iwashita, H.Matsunari, H.Furuita and K.Mushiake (2008). Nutritional evaluation of live food organisms and commercial dry feeds used for the seed production of amberjack *Seriola dumerili*. *Fisheries Science* 74 : 1096-1108.
- T.Yamamoto, K.Teruya, T.Hara, H.Hokazono, H.Hashimoto, H.Furuita, H.Matsunari and K.Mushiake (2009). Nutritional evaluation of rotifers in rearing tanks without water exchange during the post-hatch period in seed production of amberjack *Seriola dumerili*. *Fisheries Science* 75 : 697-7059.
- 村田圭助, 櫻田清成 (2009). 八代海における *Cochlodinium polykrikoides* 赤潮の発生環境と対応. 日本プランクトン学会報 56(1) : 52-55.
- 竹丸巖, 加塩信広, 前野幸二 (2009). 鹿児島湾の養殖ブリ及びカンパチで発生した上湾症. 水産増殖 57(2) : 255-264.
- 西木一生, 野本竜平, 米村輝一朗, 中西健二, 平江多績, 村瀬拓也, 伊丹利明, 吉田照豊 (2009). ブリ属魚類由来 *Streptococcus dysgalactiae* の薬剤感受性. 日水誌 75(3) : 451-452.
- 金井欣也, 山田美幸, 孟飛, 高橋一郎, 長野泰三, 川上秀昌, 山下亜純, 松岡学, 福田穰, 三吉泰之, 高見生雄, 中野平二, 平江多績, 首藤公宏, 本間利雄 (2009). わが国の養殖ヒラメから分離された *Streptococcus parauberis* の血清型. 魚病研究 44(1) : 33-39.
- W.Sompoth, 和田新平, 畑井喜司雄, 佐野文子, 仁部玄通, 平江多績 (2010). カンパチ, マダイおよびマウスに対する *Mycobacterium marinum* の病原性. 魚病研究 45(2) : 88-91.

## 【書籍・雑誌等】

- 久保満 (2004). 鹿児島県におけるモジャコ漁業のための流れ藻調査についての現状報告. 月刊海洋, 36-6 : 458-463.
- 田中敏博 (2004). 鹿児島県における磯焼けと藻場造成について. 漁港 46(4) : 33-36.
- 寺田竜太, 田中敏博, 島袋寛盛, 野呂忠秀 (2004). 熱帯亜熱帯境界域におけるガラモ場の特性. 月刊海洋 36 (11) : 784-790.
- 保聖子, 上村健 (2004). 養殖ブリ及びカンパチの高品質保持. 水産学シリーズ 141 「水産物の品質・鮮度とその高度保持技術」, 恒星社厚生閣.
- 平江多績 (2004). ブリ・カンパチの健康・魚病診断. 月刊養殖 11 : 14-18.
- 田中耕治, 種子田雄 (2005). トカラ群島海域の黒潮の変動と薩南海域の海況変動. 西海ブロック漁海況研報 (13) : 23-33.
- 久保満 (2006). 鹿児島県海域に出現する流れ藻の経年変化. 月刊海洋, 38-8 : 575-582.
- 加治屋大 (2006). 鹿児島県におけるシラスの漁況予測に向けた取り組み. 黒潮の資源海洋研究 (7) : 13-16.
- 宍道弘敏 (2006). 鹿児島湾におけるマダいの栽培漁業と資源管理. 日水誌 72 (3) : 454-458.
- 宍道弘敏 (2006). 鹿児島湾におけるマダいの栽培漁業と資源管理. H17 栽培漁業技術中央研修会 テキスト集, 1-11.
- 田中敏博 (2006). 磯焼けと藻場回復—魚とのつきあい. 海藻を食べる魚たち 藤田大介, 野田幹雄, 桑原久実 編著. 成山堂書店.
- 平江多績 (2006). ブリ類の体表寄生虫の駆除方法. アクアネット 9 : 24-27.
- 新村巖, 田中敏博 (2007). 鹿児島県の有用藻類 : I 緑藻綱. 藻類, 日本藻類学会.
- 保聖子 (2007). トビウオ燻製. 「日本の伝統食品辞典」, 朝倉書店.
- 平江多績 (2007). 養殖ブリ・カンパチの新型レンサ球菌症. 月刊海洋 29(4) : 334-340.
- 森永法政 (2008). 鹿児島県におけるゴマサバ漁獲特性. 西海ブロック漁海況研報 (15) : 25-36.

田中敏博 (2008). 漁師と学生の藻場回復活動. 磯焼けを起こすウニ 藤田大介, 町口祐二, 桑原久実 編著, 成山堂書店.

田中敏博 (2008). 藻場と心の回復—指宿市岩本地区藻場保全会の活動から海を育む里海保全活動. 漁協 25, 全国漁業協同組合連合会.

新村巖, 田中敏博 (2008). 鹿児島県の有用藻類: II 褐藻綱. 藻類, 日本藻類学会.

新村巖, 田中敏博 (2008). 鹿児島県の有用藻類: III 紅藻綱. 藻類, 日本藻類学会.

森島義明, 田中敏博 (2008). ガンガゼを魚の餌に. 磯焼けを起こすウニ 藤田大介, 町口祐二, 桑原久実 編著, 成山堂書店.

虫明敬一, 浜田和久, 照屋和久, 外菌博人, 甲斐勲 (2008). カンパチ養殖用種苗の国産化へ前進!. アクアネット, 湊文社.

平江多績 (2008). 養殖ヒラメの脳に見られた粘液胞子虫. 月刊養殖 8: 92.

田中耕治 (2009). 薩南海域等の流況について. 西海ブロック漁海況調査研究報告(17): 9-13.

浜田和久, 虫明敬一, 外菌博人 (2009). 成長性・抗病性・経済性に優れる人工種苗. 養殖, 緑書房.

宍道弘敏, 神野公広 (2010). 鹿児島県海域奄美北部海域におけるキンメダイ属3種 *Beryx splendens*, *B. mollis*, *B. decadactylus* の漁獲水深及び水温の比較. 黒潮の資源海洋研究 (11): 77-83.

山砥稔文, 坂本節子, 山口峰生, 村田圭助, 櫻田清成, 高野義人, 岩滝光儀, 松岡数充 (2010). 西九州沿岸における有害無殻渦鞭毛藻類 *Cochlidinium* sp.type-Kasasa の分布と特性, 藻類 58(3): 167-172.

田中敏博 (2010). 移植海藻を生かす中層網. 藻場を見守り育てる知恵と技術 藤田大介, 村瀬昇, 桑原久実 編著, 成山堂書店.

村瀬拓也 (2010). ハダムシ卵を養殖生簀内で駆除する試み--水面近くにポリモンを設置する効果」アクアネット, 湊文社.

外菌博人 (2010). カンパチ種苗生産の技術開発について. MPアグロジャーナル, MPアグロ.

平江多績 (2010). 養殖カンパチの脳脊髄炎症. 月刊養殖 3: 94.

## 【学会発表】

### 口頭発表

厚地伸，大富潤．八代海におけるクルマエビの放流効果．平成 16 年度日本水産学会大会．

厚地伸，久田安秀，齋藤真美．鹿児島県近海産キビナゴの成長と成熟．平成 16 年度日本水産学会大会．

宍道弘敏，坂本崇，北田修一．マイクロサテライト DNA マーカーにおける鹿児島県周辺海域のマダイ集団の遺伝的変異性．平成 16 年度日本水産学会大会．

奥原誠．南西諸島海域におけるメバチ・キハダの標識放流について．第 48 回漁業懇話会講演会 (H16)．

厚地伸．南九州産キビナゴの漁獲特性と資源管理．第 48 回漁業懇話会講演会 (H16)．

宍道弘敏，増田育司，野田繁，亀田佳明．コホート解析による鹿児島湾産マダイの資源量推定．平成 17 年度日本水産学会大会．

外菌博人．カンパチ種苗生産の現状と展望．平成 18 年度日本水産学会水産増殖懇話会．

横山佐一郎，森耕輔，村瀬拓也，平江多績，石川学，越塩俊介．飼料性ラクトフェリンはカンパチのハダムシ寄生を防除できるか．平成 19 年度日本水産学会春季大会．

木南竜平，良永知義，平江多績，仁部玄通，村瀬拓也，小川和夫．神経伝達物質による *Neobenedenia girellae* の人為的な着定誘導．平成 19 年度日本水産学会春季大会．

宇治督，黒川忠英，吉田一範，外菌博人，野元聡，中村章彦，堀田卓朗，照屋和久，虫明敬一．カンパチ 21-3：カンパチ胚発生期における筋肉の可視化法の開発．平成 19 年度日本水産学会春季大会．

山本剛志，古板博文，外菌博人，鈴木伸洋，岩下恭朗，松成宏之，橋本博，照屋和久，虫明敬一．カンパチ 21-6：カンパチ人工種苗で使用された飼餌料の栄養学的評価．平成 19 年度日本水産学会春季大会．

黒川忠英，宇治督，吉田一範，堀田卓朗，外菌博人，中村章彦，井上慶幸，原敬，照屋和久，虫明敬一．カンパチ 21-9：カンパチ人工種苗における形態異常について．平成 19 年度日本水産学会春季大会．

良永知義，木南竜平，小川和夫，平江多績，村瀬拓也，外菌博人，中村章彦．カンパチ 21-18：ハダムシ類 2 種の虫卵の乾燥，高温，淡水処理への耐性．平成 20 年度日本水産学会春季大会．

林知宏，浜崎活幸，外菌博人，中村章彦，照屋和久，橋本博，甲斐勲．カンパチ 21-14：種苗生産における共食いの実態．平成 20 年度日本水産学会春季大会．

山本剛志，照屋和久，原敬，外菌博人，甲斐勲，橋本博，松成宏之，虫明敬一．カンパチ 21-15：止水飼育中の飼育水槽内のワムシの栄養成分の変化．平成 20 年度日本水産学会春季大会．

陳衛民，三星亨，照屋和久，虫明敬一，外菌博人，井上慶幸．カンパチ 21-17：屋外環境下での小集団カンパチ人工種苗自発摂餌リズム．平成 20 年度日本水産学会春季大会．

良永知義，木南竜平，小川和夫，平江多績，村瀬拓也，外菌博人，井上慶幸．カンパチ 21-18：ハダムシ類 2 種の虫卵の乾燥，高温，淡水処理への耐性．平成 20 年度日本水産学会春季大会．

山本玄，良永知義，小川和夫，高木儀昌，外菌博人，中村章彦．カンパチ 21-19：カンパチ養殖生簀におけるハダムシ並びにエラムシ虫卵の垂直分布．平成 20 年度日本水産学会春季大会．

古川三記子，米村輝一郎，中西健二，福田穰，平江多績，村瀬拓也，中井敏博，伊丹利明，吉田照豊．近年増加傾向にある *Lactococcus garvieae* 菌株の遺伝子解析とカンパチに対する免疫反応．平成 20 年度日本水産学会春季大会．

山本剛史，岩崎隆志，原敬，外菌博人，甲斐勲，照屋和久，橋本博，松成宏之，虫明敬一．カンパチ 21-24：無換水飼育期間中の水槽内のワムシおよび種苗のミネラル含量．平成 21 年度日本水産学会春季大会．

宇治督，外菌博人，井上慶幸，甲斐勲，岩崎隆志，照屋和久，黒川忠英．カンパチ 21-25：カンパチ形態異常の出現時期と出現状況について．平成 21 年度日本水産学会春季大会．

陳衛民，三星亨，井手健太郎，照屋和久，虫明敬一，外菌博人，井上慶幸．カンパチ 21-26：海上小割生簀条件下でのカンパチ人工種苗の自発摂餌リズム．平成 21 年度日本水産学会春季大会．

浜田和久，照屋和久，廣川潤，虫明敬一，外菌博人，征矢野清．カンパチ 21-27：早期採卵由来の国産人工種苗の成長．平成 21 年度日本水産学会春季大会．

宍道弘敏，神野公広，久保満．鹿児島県海域におけるマチ類資源回復計画開始後の尾叉長組成の変化．平成 22 年度日本水産学会春季大会．

宍道弘敏，田中耕治．標識放流再捕記録からみた鹿児島湾産ブリ 0-1 歳魚の移動と成長．平成 22 年度水産海洋学会大会．

青木奈緒，木島まゆみ，川西路子，新居つかさ，山本欣也，村瀬拓也，柳宗悦，二見邦彦，片桐孝之，延東真，舞田正志．養殖カンパチ稚魚及び飼育環境の衛生状況の調査について．平成 22 年度日本魚病学会大会．

青木奈緒，木島まゆみ，川西路子，新居つかさ，山本欣也，村瀬拓也，柳宗悦，二見邦彦，片桐孝之，延東真，舞田正志．採血用濾紙を用いたビブリオ凝集抗体価の測定に関する基礎的検討．平成 22 年度日本魚病学会大会．

## ポスター発表

吉満敏, 田中敏博, 今吉雄二, 上野剛志. 鹿児島湾におけるアマモ場の変動について. 日本藻類学会第30回大会 (H18).

今吉雄二, 田中敏博, 吉満敏, 上野剛志. 奄美大島のガラモ場の特徴と造成に関する考察. 日本藻類学会第30回大会 (H18).

宍道弘敏, 久保満, 神野公広. フェダイ科魚類3種の標識放流技術と放流再捕記録. 平成21年度水産海洋学会大会.

## 【シンポジウム等発表】

田中耕治. トカラ群島海域の黒潮の変動と薩南海域の海況変動. H16 西海ブロック研究発表会.

久保満. アオダイ標識放流技術試験. H16 九州・山口ブロック漁業分科会.

中野正明. 鹿児島県におけるスジアラ種苗生産試験の取り組みについて. H16 九州・山口ブロック海面増殖分科会.

吉満敏. 鶴田ダム湖における稚アユの出現状況. H16 九州・山口ブロック水産試験場長会内水面部会.

田中敏博. 鹿児島湾におけるアマモ場の分布と消長について. H16 瀬戸内海ブロック水産業関係試験研究推進会議生産環境・漁業生産合同部会藻場情報交換会

保聖子, 上村健. 養殖ブリ及びカンパチの高品質保持. 平成16年度日本水産学会春季大会シンポジウム.

保聖子, 森島義明, 新谷寛治. 養殖カンパチにおける肉質改良材の添加効果. H16 水産利用加関係試験研究推進会議 利用加工技術部会研究会.

保聖子. 養殖カンパチの鮮度保持試験ー活魚輸送後の取り扱いー. H16 九州山口ブロック利用加工分科会.

加治屋大. イワシ類の仔稚魚期の生態とシラス漁況予測. H17 中央ブロック資源・海洋研究会.

石田博文. 鹿児島県におけるヒラメの放流効果調査. H17 九州・山口ブロック海面増殖分科会.

田中耕治. 計量魚探調査の現状と今後の課題. H17 九州・山口ブロック漁業分科会.

今吉雄二. 奄美大島におけるガラモ場造成手法の開発. H17 瀬戸内海ブロック水産業関係試験研究推進会議 生産環境・漁業生産合同部会 藻類情報交換会



田中敏博．鹿児島における磯焼けと藻食性魚類対策について．平成 17 年度日本水産工学会春季シンポジウム．

田中敏博．鹿児島県の藻場と藻場造成について．H17 全国漁港漁場整備技術研究発表会

吉満敏．モクズガニ放流調査．H17 九州・山口ブロック水産試験場長会内水面部会．

保聖子．かつお節加工残滓からの魚醤油開発．H17 九州山口ブロック利用加工分科会．

平江多績．中国産カンパチ中間魚へのアニサキス寄生例．H17 九州・山口ブロック魚病分科会．

森永法政．鹿児島県におけるゴマサバの漁獲特性について．H18 西海ブロック研究発表会．

田中耕治．屋久島におけるトビウオの漁海況．H18 九州・山口ブロック漁業分科会．

田中敏博．ガラモ場構成種の変動と藻場造成への応用．平成 18 年度日本藻類学会公開シンポジウム．

吉満敏．モクズガニの生態及び関連する試験概要．第 52 回漁業者活動実績発表大会 (H18)．

今吉雄二．奄美大島における藻場造成-ii) 階段藻礁を利用した核藻場づくり．H 18 瀬戸内海ブロック水産関係研究開発推進会議 生産環境部会 藻類情報交換会

保聖子．ヒゲナガエビ黒化防止の検討．H18 水産利用加関係試験研究推進会議 利用加工技術部会研究会．

保聖子．「タカエビ」「ヒゲナガエビ」黒変防止試験について．H18 九州・山口ブロック利用加工分科会．

保聖子．かつお節加工残滓を利用した天然調味料（魚醤油）の試作．H18 沖縄地域食品関係試験研究場所長会研究会．

村瀬拓也．鹿児島県における KHV 病の発生状況．H18 九州・山口ブロック内水面分科会．

今吉雄二．クルマエビ養殖施設を利用したシラヒゲウニ養殖試験．H18 南西諸島栽培漁業技術連絡協議会．

立石章治．マダイ放流種苗の健苗性について．H19 九州・山口ブロック海面増殖分科会．

榊純一郎．遠洋カツオ漁業における漁場探索手法(平成 19 年度ヒシガ魚群調査) H19 九州・山口ブロック漁業分科会．

田中敏博．暖海域におけるホンダワラ類藻場造成の現状と藻場の利用．日本応用藻類学研究会第 6 回春季シンポジウム (H19)

田中敏博．ガンガゼの有効利用について．H19 九州・山口ブロック場長会 磯焼け・藻場造成分科会

吉満敏．鹿児島県における藻場回復研究の成果と課題．海の森 里海シンポジウム in 鹿児島(H19)．

吉満敏．鹿児島県における藻場回復の取り組み．磯焼け対策全国協議会 (H19)．

吉満敏．モクズガニ放流後の成長・生残．H19 九州・山口ブロック水産試験場長会内水面部会．

保聖子，折田和三．急速凍結処理並びに凍結保管温度が養殖カンパチフィレ어의肉質に与える影響について．H19 水産利用加関係試験研究推進会議 利用加工技術部会研究会．

保聖子，折田和三．急速凍結処理並びに凍結保管温度が養殖カンパチフィレ어의肉質に与える影響について．H19 九州・山口ブロック利用加工分科会．

村瀬拓也，平江多績，仁部玄通．新型レンサ球菌症の新地域・新魚種での発生事例について．平成 19 年度日本水産学会九州支部例会．

平江多績，村瀬拓也，Sompoth Weerakun，青木菜緒，倉田修，畑井喜司夫．養殖ブリの抗酸菌症に対するホルマリン不活化ワクチンとストレプトマイシン投与の有効性試験．平成 19 年度日本水産学会九州支部例会．

平江多績．ブリのミコバクテリア症に対するホルマリン不活化ワクチンとストレプトマイシン投与の有効性試験．H19 九州・山口ブロック魚病分科会．

村瀬拓也．養殖マアジの新型レンサ球菌症．H19 九州・山口ブロック魚病分科会．

鵜瀬直樹，野本竜平，米村輝一郎，中西健二，平江多績，村瀬拓也，伊丹利明，吉田照豊．魚類病原性 *Streptococcus dysgalactiae* の分子疫学および薬剤感受性調査．平成 19 年度日本水産学会九州支部例会．

古川三記子，米村輝一郎，中西健二，福田穰，平江多績，村瀬拓也，伊丹利明，吉田照豊．日本の養殖海産魚類から分離された *Lactococcus garvieae* の疫学的解析．平成 19 年度日本水産学会九州支部例会．

野元聡．サバヒ어의種苗生産技術開発について．H19 南西諸島栽培漁業技術連絡協議会．

猪狩忠光．奄美海域における藻場造成．H20 九州・山口ブロック場長会 磯焼け・藻場造成分科会

田中耕治．薩南海域の流況について．H20 西海ブロック研究発表会．

立石章治．東町漁協マダコの資源管理について．H20 九州・山口ブロック漁業分科会．

村田圭助．赤潮の発生とモニタリング 八代海．2008 年度日本プランクトン学会春季シンポジウム．

保聖子．養殖カンパチフィレ어加工残滓の有効活用事例．H20 九州・山口ブロック利用加工分科会．

平江多績，カンパチ稚魚の異常遊泳を伴う死亡事例について．H20 九州・山口ブロック魚病分科会．

Chen,W.-M, T.Mituboshi, K.Teruya, K.Mushiake, H.Hokazono and Y.Inoue. Self-feeding rhythms in juvenile amberjack *Seriola dumerili* under controlled and ambient environmental condition. Australasian Aquaculture Conference (2008).

神野公広．スジアラの種苗生産の現状について．H20 九州・山口ブロック海面増殖分科会．

猪狩忠光．奄美における藻場造成．H20 南西諸島栽培漁業技術連絡協議会．

柳宗悦．サバヒー種苗生産技術開発．H20(独)水産総合研究センター西海区ブロック会議．

徳永成光．高度化事業における藻場回復技術実証試験．H21 九州・山口ブロック場長会 磯焼け・藻場造成分科会

宍道弘敏，神野公広．鹿児島県海域奄美北部海域におけるキンメダイ属 3 種の漁獲水深及び水温の比較．H21 中央ブロック資源・海洋研究会．

榊純一郎．ビンナガ予報手法開発（平成 21 年度ビンナガ予報調査）．H21 九州・山口ブロック漁業分科会．

保聖子．冷凍刺身の品質に与える凍結保管温度等条件の検討．H21 沖縄地域食品関係試験研究場所長会研究会．

保聖子．刺身テクスチャーの数値化による評価の検討．H21 九州・山口ブロック利用加工分科会．

平江多績．海面養殖魚の鰓に寄生した繊毛虫．H21 九州・山口ブロック魚病分科会．

村瀬拓也．カンパチのハダムシ(ネオベネデニア)症対策に関する研究．H21 九州・山口ブロック魚病分科会．

村瀬拓也．シラスウナギの簡易判定．H21 九州・山口ブロック内水面分科会．

村瀬拓也．工学的手法を利用したハダムシの寄生を予防する新技術の確立．産官学連携技術シーズセミナー&現地検討会 in 大分 (H21)．

村瀬拓也．工学的手法を利用したハダムシの寄生を予防する新技術の確立．JST 研究成果報告会 in かごしま (H21)．

Chen,W.-M., K.Ide, T.Mituboshi, K.Teruya, K.Mushiake, H.Hokazono and Y.Inoue. Seasonal change of self-feeding rhythms and growth in amberjack *Seriola dumerili* juveniles under seacage-rearing condition. Asian-Pacific Aquaculture 2009 Conferenc.

柳宗悦．サバヒー種苗生産技術開発試験の現状と課題．H21 南西諸島栽培漁業技術連絡協議会．

榎純一郎，遠洋カツオー一本釣漁船が対象とするビンナガの春季漁場及び来遊資源豊度予測手法の検討。  
H22 中央ブロック資源・海洋研究会。

石田博文，鹿児島県海域で 2007 年に漁獲されたマイワシの来遊過程。H22 西海ブロック研究発表会。

立石章治，鹿児島・熊本県海域の放流ヒラメの移動について。H22 九州・山口ブロック海面増殖分科会。

宋道弘敏，マチ類資源回復計画の取り組み効果の試算。H22 九州・山口ブロック漁業分科会。

徳永成光，笠沙地区の藻場形成状況等について。H22 九州・山口ブロック場長会 磯焼け・藻場造成分科会

吉満敏，徳永成光，鹿児島県本土域に生育するアマモの現況（ポスター）。全国アマモサミット 2010 in 鹿児島。

西広海，2010 年夏のシャトネラ アンティーカー赤潮の発生状況。平成 22 年度日本水産学会九州支部例会シンポジウム。

保聖子，鶴田和弘，無給餌短期蓄養によるサバの品質について。H22 水産利用加関係試験研究推進会議 利用加工技術部会研究会。

保聖子，米村輝一朗，アジ・サバ類の刺身商材化のための蓄養と流通技術。平成 22 年度日本水産学会シンポジウム漁獲物の蓄養と環境馴致による品質向上技術の開発。

保聖子，前野幸二，チリメン・シラス加工への通電加熱技術の導入について。H22 九州・山口ブロック利用加工分科会。

柳宗悦，平成以降の本県内水面研究の動向について。H22 九州・山口ブロック内水面分科会。

村瀬拓也，ゲンゴロウブナにおけるチョウ症。H22 九州・山口ブロック内水面分科会。

今村昭則，ヤコウガイの種苗生産状況。H22 南西諸島栽培漁業技術連絡協議会

## 【受賞】

平成 17 年度日本水産学会大会

（日本水産学会賞（論文賞））

厚地伸，増田育司，鹿児島湾におけるヒラメ人工種苗の放流効果